

様子の変化に気づき、声をかける



部活動指導員（男子新体操部）

小松島市小松島中学校

近藤 幸子 さん



部活動指導員とは

部活動指導員は、教員の教材研究等に係る時間の確保や、専門外教員の心理的負担の軽減を図るために配置されており、中学校におけるスポーツ、文化、科学等に関する教育活動（中学校の教育課程として行われるものを除く。）に係る技術的な指導に従事しています。

部活動指導員になったきっかけとは

小松島中学校で10年間勤務し、退職後も引き続き、新体操部を担当することになりました。新体操は、技術面や構成面で専門的な知識と生徒がけがをしないように細かな指導が必要です。長年培った指導力を生かしたいと思い、部活動指導員になりました。高校へ行っても新体操を続ける生徒もいるので、高校と連携し、構成面等、練習に取り入れています。

活動内容

【部活動指導員として活動する日】

○月・火・水・金（それぞれ2時間程度）

○土、日（どちらか一日に3時間程度）

※木曜日は、ノー部活デー

※土、日のどちらか一日は、生徒の休養日

【活動内容】

○技術、筋力トレーニングの指導

○構成（フォーメーション）の指導



部員に話を聞きました！

・いつも分かりやすく、教えていただいています。技ができるようになると、とてもうれしいです。

・練習中は、厳しいですが、気を抜いたらけがをするので、言われたことに納得して練習できています。

心がけていること

生徒一人一人の個性も今のコンディションも違うので、生徒一人一人に合わせた指導を心がけています。「できる技を通して積み上げる」ことが大切です。また、学校で体育祭や水泳学習がある日は、生徒の疲れ具合をみて、ゆとりのある練習メニューに変更するなど、気をつけています。

部活動指導員を経験してみたの感想

教員をしている時は、授業準備や生徒指導等で多忙でした。部活動指導員の立場では、細かく練習計画を立てられ、指導に集中できます。「この生徒は、今日は調子がいい！」と感じたら、すぐに声をかけ、指導に力を入れます。その時は、ぐっと伸びるので、それが面白いです。また、新体操の面白さをもっと周りの人たちに伝えたいです。「新体操をやってみたい！」と思う小学生や中学生がもっと増えてほしいです。

顧問の先生よりひとこと

部活動指導員の近藤さんは、小松島中学校で教員として長く勤められたので、学校のことや生徒のことよく知っています。生徒指導上気になるところがあると、近藤さんに伝えておきます。すると、活動中に生徒に話かけ、指導していただくこともあります。技術指導は、もちろんですが、生徒指導面でも非常に心強いです。何より、生徒一人一人への指導に情熱を感じます。近藤さんに、部活動をお任せしている間に、部の名簿作成や部費の運用等、事務的な仕事をすることができます。私は、生徒一人一人を応援する気持ちで部活動の指導にあたっています。



顧問の江崎先生